

オーストラリア市民(国内の高校卒業生)の大学進学において、12年間の基礎教育から大学入学に至るまでの最も重要な評価ポイントは、高校最終学年の成績に基づき算出される **ATAR**です。

これは、日々の学習の積み重ねと、最後の学年で得られる評価の集大成と言えます。

最重要評価ポイント: **ATAR (Australian Tertiary Admission Rank)**

日本の大学受験における偏差値や得点とは異なり、ATARは**「ランキング」

ATARの算出に影響する主な評価要素

ATARは、主に高校最終学年 (Year 11と12) の成績に基づいて算出されますが、その成績は以下の2つの評価の組み合わせで決定されます。

1. 内部評価 (学校内成績)

- 日々の成績の積み重ね:
 - 授業への参加度、課題の提出と質、小テストや中間・期末試験の結果などが含まれます。
 - 多くの州で、この学校内での評価が**最終成績の約50%**を占めます。
- この内部評価により、「一発勝負」ではなく、高校生活を通じた継続的な学習姿勢が評価されることになります。

2. 外部試験 (最終卒業試験)

- 州統一試験の結果:
 - 各州・テリトリーが実施する統一の卒業/最終試験の結果です (例: NSW州のHSC、VIC州のVCEなど)。
 - この外部試験の結果も**最終成績の約50%**を占めます。

重要なプロセス: スケーリング (Scaling)

ATARを算出する際、学生が履修した科目の難易度や、その科目を選択した学生の全体的な学力レベルを考慮して、**成績の調整 (スケーリング)**が行われます。

- 例えば、難易度の高い科目を履修して平均的な成績を取った場合でも、簡単な科目で高得点を取るよりも、スケーリング後に高い評価となることがあります。
- このスケーリングにより、公平性を保ちつつ、学生が興味や能力に応じてチャレンジングな科目を選択することを奨励しています。

その他重要な評価要素

必須科目の履修

大学の学部・専攻によっては、入学要件として特定の高校科目を履修していること (例: 工学部なら特定の数学や科学の科目) が定められています。ATARが高くても、この要件を満たしていなければ入学できません。

英語力 (国内学生の場合)

留学生とは異なり、オーストラリア市民は通常、IELTSなどの英語試験を別途提出する必要はありません。しかし、高校での英語科目の成績がATARの算出に組み込まれます。

まとめ: オーストラリアの大学入試制度は、**「高校最後の2年間 (Year 11 & 12) の学業成績」**を最も重視します。それは、学校内での日々の努力 (内部評価) と、州統一試験の結果 (外部試験) の双方から評価され、最終的に算出されたATARというランキングで、大学への進学が決まるのです。

ありがとう。よくわかりました。私や家族はBrisbaneに住んでいるのですが、QLD州独自の事情はなにかありますか？

Brisbaneにお住まいとのことですので、クイーンズランド州(QLD州)独自の大学進学システムについてお答えします。

QLD州は、2020年から以前のOP(Overall Position)制度を廃止し、オーストラリアの他の州と同じくATAR(Australian Tertiary Admission Rank)制度を導入しました。この移行に伴い、QLD独自の評価と試験の仕組みが確立されています。

QLD州独自の重要な評価ポイント: QCEと評価のバランス

QLD州での大学進学は、まず**QCE(Queensland Certificate of Education)**という高校卒業資格を取得することが前提となります。その上で、ATARが算出されます。

1. 最終成績の構成(内部評価と外部試験)

QLD州では、大学入試に影響する最終成績は、以下の2つの評価を組み合わせで算出されます。これが、日々の学習の積み重ねと、最後の試験結果をバランスよく評価する鍵となります。

- 内部評価 (Internal Assessment):
 - Year 12の成績の**75%**を占めます(一部の科目を除く)。
 - これは、学校内で実施される課題(Assignments)、試験(Exams)、実技(Performances)などの日々の学習の成果です。
 - 学校間での評価のばらつきを調整するため、**QCAA(Queensland Curriculum and Assessment Authority)**によるモデレーション(Moderation)**が行われます。
- 外部試験 (External Assessment):
 - Year 12の成績の**25%**を占めます(一部の科目を除く)。
 - これは、QCAAが作成・実施する、州全体で統一された期末試験の結果です。
 - この外部試験の結果が、内部評価のスコアを最終的に決定する上で重要な役割を果たします。
 - 数学や科学など一部の科目では、この外部試験の比重が**50%**になるものもあります。

2. ATAR算出の仕組み

上記の内部評価と外部試験を組み合わせた最終成績に基づき、ATARが算出されます。

- 基礎資格(QCE)の取得: ATAR算出の前提として、学生はまずQCEを取得している必要があります。
- ATARへの反映: 大学出願に利用されるのは、学生が履修した科目の中から、成績の良い上位5つのGeneral Subjects(または同等の組み合わせ)の最終成績です。

3. 最も重要な評価ポイント(総括)

QLD州のシステムにおいて、子どもたちの12年間の学習を俯瞰したときに最も重要な評価ポイントは、以下の2点です。

- 継続的な努力と成果(内部評価): 成績の**大半(75%)**が学校内での日々の学習姿勢や課題の質で決まるため、Year 12を通じた継続的な高水準のパフォーマンスが不可欠です。
- 州統一試験への対応力(外部試験): 最終成績の**25%**を占め、内部評価のモデレーションにも影響を与えるため、最後の統一試験で確実に結果を出す能力も極めて重要です。

要するに、QLD州のATAR制度は、毎日の授業での努力と最終試験での集中力の両方を高いレベルで要求するシステムだと言えます。